

質 問 書

本年6月30日付の新聞報道（山梨日日新聞）によれば、早川町内のリニア工事の発生土の仮置き場の地下水から、環境基準を越えたフッ素が検出された旨、JR東海から発表されています。この件についてお尋ねします。

- 1・工事の発生土からはフッ素は検出されず、仮置き場直近の雨畑川上流から検出されているので、自然由来のものと考えられるとされていますが、これでよいのでしょうか。
- 2・雨畑川上流のフッ素の値は、一リットル当たりどれくらいなのか、把握していますか。
- 3・工事の発生土からは検出されていないということですが、それはどのような検査方法によって調べられたものか、確認されていますか。
- 4・モニタリングのための観測井戸を二か所増やすとのことですが、すでにその観測井戸は設置されたのでしょうか。また、それで十分だと思われませんか。
- 5・モニタリングの回数は、発生土の置き場によって異なるようですが、その正確な回数をお教えください。また、それで十分とお考えですか。
- 6・昨年度の環境調査の結果が、本年6月29日に発表されていますが、公表が遅すぎるとは思われませんか。
- 7・トンネル発生土の土壌汚染対策について、県とJR東海との間でアセス評価書以外の何か取り決めはされていますか。
- 8・今後、南アルプスのトンネル掘削に伴って、第三者的立場から独自の調査を行う必要があるとは思われませんか。

以上

山梨県知事 後藤 斎 殿

2017年11月20日

リニア・市民ネット山梨
代表 川村晃生

T/F 055-252-0288

〒400-0014 甲府市古府中町 984-2